

日本マーチングリーグ(JML),加盟団体各位  
オールジャパン・ウォーキングカップ(AJWC)認定大会実行委員会各位  
(参考)都道府県協会各位

## 新型コロナウイルス感染症拡大下での 大規模ウォーキングイベント開催の今後について(指針)

2020年8月1日  
一般社団法人日本ウォーキング協会  
日本マーチングリーグ  
会長 畑 浩靖

日頃、JML 或いは AJWC のウォーキングイベントを通じて、ウォーキング普及活動にご尽力頂いていることに、心から感謝申し上げます。

さて、ご存知の通り、今年年頭から始まった新型コロナウイルス(Covid-19)感染症はその後世界的なパンデミックにまで至り、日本のみならず世界中で主たるウォーキングイベントは中止をせざるを得ないという状況に至っています。

日本においても2月から始まった感染拡大の波は、全国的な緊急事態宣言の発令により一旦は縮小に転じたかに見えましたが、同宣言の解除と共に再び拡大方向に向かっています。過去の事例から見ると、完全に終息する迄には長期間、具体的には2~3年程度の期間を有するとの見方も専門家の間からは出ています。

一般社団法人日本ウォーキング協会(JWA)は、2月以降随時「ウォーキングイベントの開催に関する指針」を出して、皆様の参考に供して参りました。最新の指針では、JML 大会や AJWC 大会のように全国から参加者のある大規模大会については、今年一杯自粛をするという方向に致しました。

JML 大会や AJWC 大会は、上記した通り全国から参加者が集まる日本を代表する規模の大きな大会です。従って、その準備は多方面に及び、早ければ6か月前には始める必要があります。このようなことから、来年1月から3月にかけての大会の開催の是非についてのご質問を頂くことが多くなりました。

何分にも、Covid-19 については、まだまだ判らないことも多く、6ヶ月以上先の状況を予測することは不可能です。このような状況の下で、来年の1月以降のイベントの開催について、皆様のご参考に供するために以下のような指針を作成致しました。この指針はあくまでも現状に基づいたものであって、状況が変われば指針も変更になることがありますので、ご承知おき下さい。

**今年度中開催予定の JML 大会及び AJWC 大会については、原則中止する。  
但し、十分に条件が整えば、開催も可とする。**

このような結論に至った経緯は以下の通りです。

- ① 何よりも、参加者、運営スタッフ及び開催地住民の皆さんの安全と安心を担保できるかどうかを判断の基準とする。

- ② ウイルスの生育には湿気が多く気温が高い夏場より、乾燥し気温も低い冬の時期の方が適していて、従来のインフルエンザ同様に12月以降3月頃までは感染が広がる可能性が指摘されている。
- ③ 日本の場合は、感染拡大を抑えて来たため、感染者数が諸外国に比べて少ないので、再び緊急事態宣言等を出さない限り、感染拡大状況は今後も長期にわたって続くものと思われる。しかも、今年の冬にはまだワクチンの開発、普及が進んでいない可能性が強い。
- ④ 全国から参加者が集まるために、蔓延していない地方で開かれる大会でも、蔓延している都会などからの参加者がウイルスを持ち込む危険性があり、また、蔓延している地方で開催される大会に、蔓延していない地方から参加し感染して帰るといった危険性もある。地元住民の安全上に問題がある。
- ⑤ 参加者、運営スタッフやボランティアには高齢者が多いので、感染すると重症化の危険性が高い。しかも治療薬がない。
- ⑥ 大会によっては、多くのスタッフが宿泊せざるをえないものもあり、宿泊施設の事情から体育館等に雑魚寝をするなど、感染の危険が多い環境を避けられないものがある。

尚、指針の中で、「但し、十分に条件を整えば、開催も可とする」と指針で述べましたが、その条件は下記の通りです。

- ① 開催地元の自治体の承諾が得られること。条件付き承諾の場合はその条件を厳守すること。
- ② 参加人員を1,000人以下に限定する。  
JML や AJWC は、全国、全世界の全てのウォーカーを等しく歓迎するという理念から外れるのでこの条件は付与したくないが、今年度に限り、JML 及び AJWC 大会の認定上で特例として認める。1,000 人以下に絞る理由は、④に示すようなスタート統制を行うためには、この程度の参加人員が限度と考えるからである。
- ③ スタート前の出発式、ウォーミングアップ、コース途中のチェックポイントや休憩所などでの接待、ゴール後のアトラクション、歓迎会、懇親会など、3密が起こりやすい行事は取り止める。
- ④ 受付は時刻ではなく時間帯として指定し、集団歩行は止めて自由歩行で、受付終了者から順次間隔を空けてスタートさせるなどの、スタート統制を行う。その場合、例えば、交差点の信号待ちで団子状態となるといったような、コース途中で参加者が密状態になることを防ぐようなスタート統制をする。
- ⑤ スタート前の受付や、チェックポイントでのチェック、ゴール後の大会参加や距離の認定の窓口を多くして、密状態が発生しないようにする。
- ⑥ その他、8月1日付の「ウォーキングイベント再会に向けた感染拡大予防ガイドライン 第2版」(一般社団法人日本ウォーキング協会)を順守した形で催行する。

以上